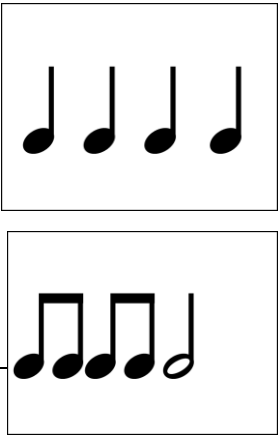
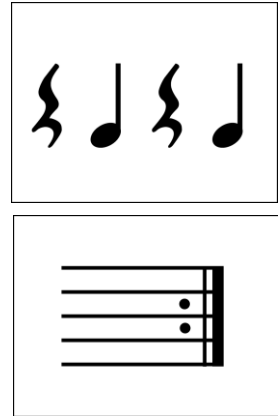


<p>教科 単元名</p>	<p>第2学年 音楽 みんなの音楽時計をつくろう</p>	
<p>教科の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拍の流れにのって、音型の組み合わせを工夫して重ね、音楽をつくって楽しむ。 ・ 自分たちのつくった音楽と共通するところを見つけながら鑑賞する。 	
<p>プログラミングソフト</p>	<p>アンプラグド</p>	
<p>プログラミングソフトを活用した利点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズムとパート譜を対応して覚えることで、並べ替えたり音を合わせることを行いやすくなる。 ・ 一小節のパート譜を並べ替えるだけで、音楽を構成する活動が行いやすい。 ・ 繰り返し、強弱といった記号を使うことで、曲作りの幅を広げることができる。 	
<p>成果 (児童の様子、変化など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズム遊びから初めて少しずつパート譜や記号を増やしていくことで、遊び感覚で単元を進めることができた。 ・ どの児童も苦手意識を持つことなく音楽を構成する活動を行うことができた。 ・ 横に並べることで、別パートとの音の重なりも視覚的にとらえることができ、工夫しながら活動していた。 ・ 鑑賞しながらパート譜で覚えたリズムを見つけていくことができていた。 	
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回使った記号が必ずしも音楽に使われているものと同じではないため、読譜の技能は別に扱わなければならない。 	